



# 真・善・美

附中だより

令和4年3月10日

TEL 054-255-0137

## 来年度に向けて～皆さんが思う自分の姿とは？～

教頭 海野 弘光

先日、北京冬季オリンピックを見ていてふっと思ったことがあります。オリンピックに出場した選手も、残念ながらオリンピックを目指してきたけれど出場できなかった選手も、共通していることは、「次のオリンピック必ず出場するぞ!」「絶対にメダルを取るぞ!」という「目標」を持ってこの4年間取り組んできたということです。残念ながらオリンピックには出場できる枠やメダルの数には限りがあるので、目標がかなわなかった選手もたくさんいるとは思いますが、しかし4年間そのような「目標」を持って取り組んだ結果、選手達はその時点での最高の自分を作りあげてそれぞれに挑戦したのではないかと思うのです。これはまさに『自主独立』の精神を持って4年間取り組み、オリンピックに出場するための最高の自分、『真善美』を追求してきた姿なのではないかと。



本校では、校歌の中にある言葉からつくられた『真善美』と『自主独立』という2つの校訓があります。昭和44年に体育館が完成したときから、体育館の両サイドの壁に掲げてあるのはご存じだと思います。生徒たちはこの言葉を合い言葉に、学校では「附中創り」に取り組んでいます。

確かにここ2年間はコロナ禍であるため、思う存分「附中創り」ができたわけではありません。しかしながら子どもたちは、そんなコロナ禍の中でいろいろな制約がありながらも、今できる最高の価値を見つけ出し、それ

を実現するための新しいアイデアやさらなる工夫を加えてこの状況乗り越えてきました。オンラインを利用した一迎会、伝統を引き継ごうと行った日帰り附中キャンプ、企画のみでしたが大いに盛り上がった体育祭、そして生徒会主催の久しぶりの文化祭、まさしく今年ならではの『真善美』を追求できたのではないかと感じています。そんな姿を見て、本校の子どもたちのバイタリティーあふれる発想力と行動力には、ただただ感心させられます。

ただどんな状況であれ本校で学んでいる生徒たちに望むことは、附中創りや日頃の学校生活、授業等を通して学んでいる『自主独立』の精神を持って『真善美』を追求する力を、自分自身のためにも活用してほしいということです。

『自主独立』の精神を学ぶとともにそれを実行できる方法・力をつけてほしい、そして本校に在る間に少しでも自分なりの『真善美』を追求し育ててほしい、そして卒業後も自分自身をさらに成長させるために『真善美』を追求し続けてほしい、それらの方法・力を身につけることが本校で学ぶ最大の利点であると考えます。



そのために必要なことは、自分なりにのぞむ『真善美』の姿を見つけることです。そこで来年度を迎えるにあたりぜひ今一度お子様とこの姿について語り合ってください。1、2年生は1、2年後の姿について、3年生は次のステージでの3年後の姿について、どんな自分でありたいか、子どもたちだけでなく保護者の皆様もぜひ一緒に考えて見て下さい。じっくりと語り合い、親子でまずその姿を共有してください。この姿を共有することが、自分なりに思う『真善美』を追求するためのスタートとなります。

しかしながら『真善美』『自主独立』を学ぶことは一人でできることではありません。仲間たちと互いによりよいものを求めてこだわり、高め合っていく中で身につきます。本校にはそういう高め合う場として、生徒たちが自分たちの手で一から創り上げる三大行事や生徒会活動があります。そして毎日の授業の中でも子どもたちがこだわって高め合えるような授業を目指し、教育研究を続けています。

まだまだコロナ禍は続きそうではありますが、逆にコロナ禍をチャンスと捉え、この時代だからこそできる『真善美』『自主独立』の追求の場づくりを、来年度も一丸となって取り組んでいきたいと考えております。そして生徒一人一人それぞれが思う自分自身の『真善美』の姿を達成できるような手助けをしていきたいと思っております。

